○　新たな施策の要望又は提案を求めるもの

<table>
<tr><td>区分</td><td colspan="4">□ 新　規　　■ 再提案　(H31・4・18 第144回総会；長野市)</td></tr>
<tr><td>種類</td><td colspan="2">□ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの
■ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの
□ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの
□ その他（　　）</td><td>分野</td><td>□ 総務文教
□ 社会環境
■ 経済
□ 危機管理建設</td></tr>
<tr><td rowspan="3">要望先</td><td>□ 国</td><td>担当省庁</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>■ 県</td><td>担当部局</td><td colspan="2">林務部</td></tr>
<tr><td>□ その他</td><td>名　　称</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>件名</td><td colspan="4">17　カラスなどによる被害に対する広域的な取組の推進について</td></tr>
<tr><td>提案市</td><td colspan="4">長野市</td></tr>
<tr><td>提案要旨</td><td colspan="4">近年、中心市街地では、多数のカラスやムクドリの飛来が見られ、ごみ集積所にある生ごみの食い散らかし、ふんによる悪臭と路面の汚れ、鳴き声による騒音などの被害が目立つようになったことから、野天のごみ集積所へのカラス除けネットの設置や職員による追い払いなどの対策を進めている。また、農作物への被害も多く、市町村での対策では限界があることから、県による広域的なカラス対策の推進を要望する。</td></tr>
<tr><td>提案理由</td><td colspan="4">カラスなどの行動範囲は、半径30kmほどといわれており、市町村単独での対策では限界があること、都市部では駆除が困難なことから、駆除や追い払い、エサとなる果樹などの取り残しへの対応など、地域ごとに有効な対策を広域的に実施することが効果的であるため、県において、関係市町村間での情報共有や効果的な対策の推進のほか、檻の設置に対する補助制度の創設や捕獲に対する補助金の増額を要望する。</td></tr>
<tr><td>現況及び課題等</td><td colspan="4">中心市街地では、平成28年頃からカラスなどが街路樹、電線、ビルの上などに群れをなすようになり、被害が表面化してきた。被害は一年を通して見られるが、特に秋期から冬期にかけての夜間は、カラスなどの飛来が増加している。
ごみ集積所に排出された生ごみに対するカラスによる被害を防止するため、カラスよけネットの利用や、野天のごみ集積所の見直しなどを市民に呼びかけている。また、農作物への被害も多いことから、カラスなどの増加を防ぐため、中山間地域での捕獲やカラスなどのエサとなる収穫物の取り残し対策などの協力を市民に呼び掛けている。
関係部局や関係団体等と対策会議を開催し、情報共有と効果的な対策の検討を進めているが、市単独での取組には限界があり、状況の改善が見られない。</td></tr>
<tr><td>関係法令</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>